

No.327



# パオ★ だよい



2022年8月号

## あつ〜い 夏は 屋内で楽しめる パオへ!

毎年、大人気の【夏休みの自由工作】 今年の新メニューもあります!



【モーターで走るアイデア工作】



【くるくる万華鏡】

工作メニューは  
全部で5種類!  
事前予約なしで  
ご参加いただけます!

### ★ ☆ パオの星空観望会 ☆ ★

週末の夜には 天体観察も楽しめます!(晴天時のみ)  
夏のパオで、いろんな体験を楽しんでください!!



イベントの詳細は4ページの“いんふおめいしょん”をご覧ください。

綾部市天文館  
☆パオ☆

**Ayabe Astronomical Observatory**

〒623-0005 京都府綾部市里町久田 21 番地の 8  
(あやバス「中丹文化会館前」バス停下車 徒歩3分)  
TEL : 0773-42-8080 FAX : 0773-42-7877

<http://www.city.ayabe.lg.jp/shakaikyoku/tenmonkan/index.html>

8月の休館日: 1日・8日・12日・15日・22日・29日

(月曜日・祝日の翌平日・年末年始が休館日です)

\*祝日の翌日が土・日曜日と重なった場合は開館します\*

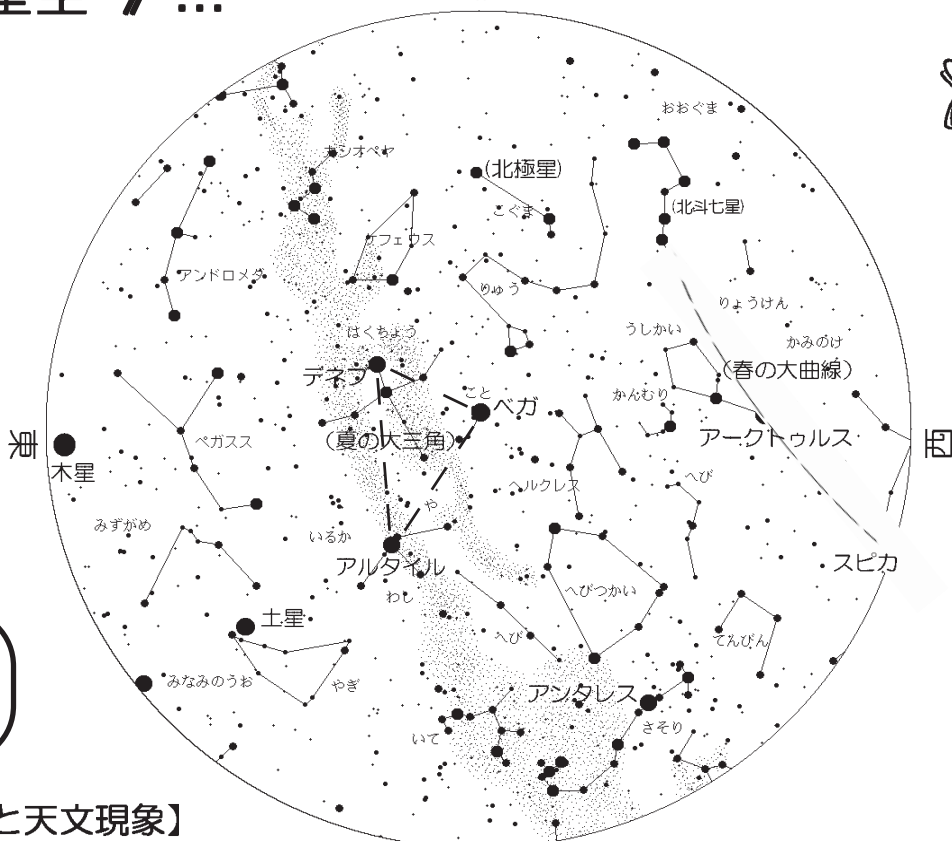
開館時間 / AM 9:00 ~ PM 4:30 (火~木)

AM 9:00 ~ PM 9:30 (金~日)

入館料 / 高校生以上 300円、小中学生 150円

# ... 《 8月の星空 》 ...

北



8月中旬  
午後9時

## 【 8月のこよみと天文現象 】

4日(木)	伝統的七夕(旧暦の7月7日)
5日(金)	☾ 上弦の月
7日(日)	立秋
12日(金)	☉ 満月(10時36分)
13日(土)	ペルセウス座流星群が極大(条件:最悪)
15日(月)	月と木星が近くに見える 土星が衝
19日(金)	☾ 下弦の月
26日(金)	月と金星が近くに見える(未明の東の空)
27日(土)	● 新月

南

copyright © REN, HASUI

## 【 8月の日の出・日の入(綾部) 】

日	日出	日入
7日	5:10	18:58
14日	5:16	18:51
21日	5:21	18:42
28日	5:26	18:33

## 【 8月の見どころ 】

- ◆土星が見やすくなってきました。わし座のアルタイルの下の方向に見えます。パオの星空観望会でも大人気の土星ですが、8月下旬の遅めの時間帯(21時過ぎ)なら観望会でその姿を見ることが出来ます。8月下旬以降は、年末まで見られます。
- ◆21時頃、東の空に木星が昇ってきます。他の星より、とても明るく目立っていて見つけやすいでしょう。15日には、木星の近くに月が見えます。観望会で木星を見られるのは9月になってからで、9月初旬は21時過ぎになるでしょう。
- ◆国際宇宙ステーションは、7月から8月初旬にかけては日没後の時間帯、8月下旬には夜明け前の時間帯に観察できる日があるでしょう。(7月10日時点での予報です。変更される可能性があります。)インターネットで「国際宇宙ステーションを見る」や「きぼうを見よう」という言葉で検索すると、時間や方角など詳しい情報が確認できます。観察する時は、なるべく直前の予報を調べてください。





# 宇宙の話



## ◆「伝統的七タ」って何？

7月7日は「七タ」の日として知られています。それとは別に「伝統的七タ」という日があることを知っていますか？今年8月4日がその日にあたります。

「伝統的七タ」って、いったい何でしょう？

七タは、もともとは旧暦（太陰太陽暦）の7月7日に行われていました。旧暦の7月7日は現在の8月にあたり、星空を観察しやすい時期でした。しかし、明治6年に新暦（太陽暦）に変更されてから、新暦の7月7日は、例年は梅雨の時期になるため（今年は異例ですが）、星が見えない日が多くなってしまいました。

そこで、国立天文台が「多くの人に星空に親しんでもらうため」に、旧暦の7月7日を「伝統的七タ」と呼ぶようにしました。この日が新暦のいつになるかは年によって異なり、今年は8月4日になります。

「伝統的七タ」は、新暦の七タと比べると、晴れる日が多いだけでなく、織姫星（こと座のベガ）や彦星（わし座のアルタイル）の位置が高くて見やすくなります。

また、月の形がいつも新月から7日目の月（太い三日月形）になり、織姫が月の船に

## 青春の挫折



乗って天の川を渡り、彦星に会いに行くというストーリーのイメージに似合いますね。

毎年8月1〜7日の一週間は「スター・ウィーク」で、星空に親しむ週間です。夏の夜空をゆつくり眺めてみましょう。



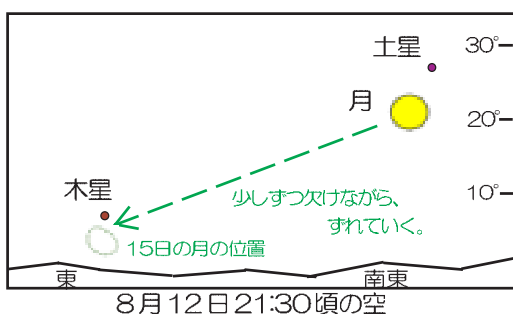
## ◆土星が「衝」、いよいよ観望好期!

いよいよ土星が観察しやすい時期になってきます。土星は8月15日に「衝」となり、地球から見えてちょうど太陽と反対の位置に来ます。つまり土星は、太陽が沈む頃に東から昇って、真夜中に南中し、日の出の頃に西の空に沈むので、一晩中夜空で見られるのです。

土星は太陽系で2番目に大きい惑星で、直径が地球の約9.5倍もあります。大き

な環があることで有名な惑星ですが、衛星も次々と発見され、太陽系で最も多い80個以上が報告されています。そのうち最大の衛星である「タイタン」は、直径が月の約15倍あり、太陽系最小の惑星である水星よりも大きい衛星です。タイタンには豊富な大気があり、表面にはメタンやエタンなどの液体が存在すると言われています。

下の図のように、8月12日には満月が土星の近くで案内をしてくれそうです。また、15日には移動した月が木星と共に昇ってきます。



天文館パオの星空観望会での土星の見ごろは9月から10月になります。

◆◆混み具合等により、入館やイベント参加をお待ちいただいたり、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、イベントを中止する可能性があります。◆◆

## 8月の☆星空観望会☆ 開催日と観望天体

- ★5日(金)～7日(日) 月のクレーターが見ごろ！他にベガ(織姫星)やアルビレオなど。
- ★13日(土)～14日(日) ベガ(織姫星)やアルタイル(彦星)、アルビレオなど。
- ★19日(金)～21日(日) ベガ(織姫星)やリング星雲、アルビレオ、球状星団など。
- ★26日(金)～28日(日) ベガ(織姫星)やリング星雲、アルビレオ、球状星団など。



観望会は、空が暗くなる20時ごろから晴天時のみ開催しています。※予約不要。ただし混雑時は入場制限あり。

## 7月21日(木)～8月31日(水) 夏休み期間限定の自由工作

◆受付 / 9:00～15:00

◆事前予約 / 不要

◆参加費 / 入館料と材料費

◆注意事項 / 数量限定(期間の途中で終了する可能性あり)  
工作は2時間以内でお願いします

家の貯金箱 材料費 / 150円

人気の貯金箱工作！クラフトテープと牛乳パックで家の形に仕上げます。

モーターで走るアイデア工作 材料費 / 350円

本体部分を車や動物など自由な形に仕上げて走らすモーターを使った電気工作

くるくる万華鏡 材料費 / 150円

牛乳パックとプラ板で作る万華鏡  
デコレーションは思いのまま！

モーター・ホバークラフト 材料費 / 450円

空気のかで走らすホバークラフト  
モーター1個で浮力と推力を生み出します！

ペットボトル風鈴 材料費 / 250円

傘の部分を自由に飾り付けてオリジナルの風鈴を作る、夏にピッタリな工作！

『貯金箱』『万華鏡』『モーターのアイデア工作』をご希望の方で、牛乳パックをご持参いただける方は、ご協力をお願いします。

☆☆ホームページに各工作見本の写真を掲載しています☆☆

## 7月30日(土) &lt;&lt;久田山フェスティバル&gt;&gt;自由工作『簡単！ペットボトル太鼓』

受付時間 / 9:00～15:00 ペットボトルとゴム風船で太鼓を作る

参加費 / 入館料のみ 簡単工作にチャレンジ！

事前予約 / 不要 当日は、中丹文化会館と綾部市資料館でも楽しいイベントを開催しています！



予約必要

## 8月6日(土) 化石採集体験教室

開始時間 / 9:00(終了予定 10:30ごろ) 持ち物 / 暑さ対策グッズ(帽子・タオル・水筒など)

参加費 / 入館料と1組(家族)500円

事前予約 / 必要(お電話にて天文館まで)

指 導 / 丹の国化石同好会 大槻道和さん

ハンマー、軍手、新聞紙、化石を入れる袋(レジ袋など)

化石探しを体験してみませんか？

主に植物の化石が採集できます。

見つけた化石はお持ち帰りいただけます。



## ☆☆ 8月の休館日 ☆☆☆

1日(月)・8日(月)・12日(金)・

15日(月)・22日(月)・29日(月)



[Face book]

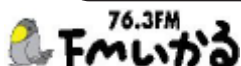
綾部市天文館パオの公式ページ

天文館パオや天文に関する情報を配信  
フェイスブックで最新情報をチェック！

## 入館時のお願い

☆ 発熱・咳・風邪などの症状がある方は入館をお控えください。

☆ ご入館前に手指の消毒、館内ではマスクの着用をお願いします。



第1・3金曜日 / 午後5時30分頃～「星に願いを」好評放送中

∞∞∞∞ 綾部市天文館&lt;パオ&gt;は生涯学習の場です ∞∞∞∞